

第2回上下水道運営審議会 水道事業用語集

	用語	説明
ア	アールピーエー RPA	「Robotic Process Automation」の略で、「ロボットによる業務自動化」のこと。システムの工程をあらかじめロボットに記憶させることにより、入力作業や集計作業、帳票作成といった単純な反復作業の自動化ができる
イ	イッパンカイケイ 一般会計 繰入金	地方公営企業は独立採算制の原則に基づき運営しているが、性質上、地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当ではない経費を一般会計からの負担金や補助金等で補てんすること。水道事業では、消火栓の設置等に係る費用や公営企業職員の児童手当などが該当する
カ	カイテイリツ 改定率	料金の算定期間に見込まれる料金収入の総額が改定前と改定後で何%増加するかを算出した比率のこと。改定率をベースにして、改定後の料金収入の総額を確保できるように料金表の各単価を調整するため、全ての口径や水量区分で同じ率にはならないもの
キ	キョウスイカンコウジ 給水管工事 負担金	給水管がまだ布設されていない箇所に給水管を布設する場合、給水管布設工事の申し込者である工事の施工主（中心街整備事務所や区画整理組合）に工事費用を負担してもらうお金のこと
	キョウスイゲンカ 給水原価	年間の水道水供給量のうち、有収水量について、その供給に対する費用がいくらかかったかを1立方メートルあたりに割り戻した原価のこと
	キョウキョウタンカ 供給単価	水を供給した時に1立方メートル当たりいくらの水道料金を徴収しているかを表した単価で、水道料金収入全体を総有収水量で割った単価のこと
ク	クカクセイリジギョウ 区画整理事業	地区内の地権者が土地を出し合い、土地の区画を改めて整形し、道路や公園、水道などの公共施設、宅地等の総合的な整備を行うこと
ケ	ケイジョウシュウシヒリツ 経常収支比率	当該年度において、給水収益などの収益で維持管理費などの費用をどの程度賄えているかを表す指標。事業を運営するうえで、基本的に100%以上となっていることが必要であり、100%未満の場合は経営改善を早急に行う必要がある
サ	サイセイ カノウ 再生可能 エネルギー	太陽光、水力、風力、地熱、バイオマスなどの、枯渇せずに繰り返して永続的に利用できるエネルギーのこと

	用語	説明
シ	シサン カンリ 資産管理システム	ポンプ場や配水管といった水道施設の情報や故障・修繕の履歴といった維持管理情報をデータベース化し、それらに基づいた更新・修繕計画の策定を支援するシステムのこと
	ショウニンキホンスイリョウ 承認基本水量	愛知県が東海市に認める1日当たり使うことができる契約上の最大水量のこと。契約した水量の増減に比例して受水費の基本料金部分も増減する。近年は、契約上の最大水量に対し、実際の使用水量が下回ることが続いている。
ス	スマートメーター	通信機能を持った水道メーター（量水器）のこと。従来型の水道メーターには通信機能が無いため、検針員が目視で一つ一つ使用量を確認する作業が必要となる。スマートメーターを導入すると通信機能により遠隔で使用量の確認が可能。
テ	D X	「デジタルトランスフォーメーション」の省略で、単なるIT技術の導入やデジタル化だけでなく、ITやデジタル技術を用いてビジネス戦略や、顧客との接点などを変革し、優位性を確立すること
ユ	ユウシュウリツ 有収率	配水量（浄水場から水道管に送った水の量）に対する有収水量（水道メーターをとおり、家庭などで使われた収入となった水の量）の割合のこと。100%に近いほど効率的となる
リ	リョウキン カイシュウ リツ 料金回収率	給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表した指標。料金回収率が100%を下回っている場合、給水に係る費用が給水収益で賄われていないことを意味しており、経営改善を早急に行う必要がある